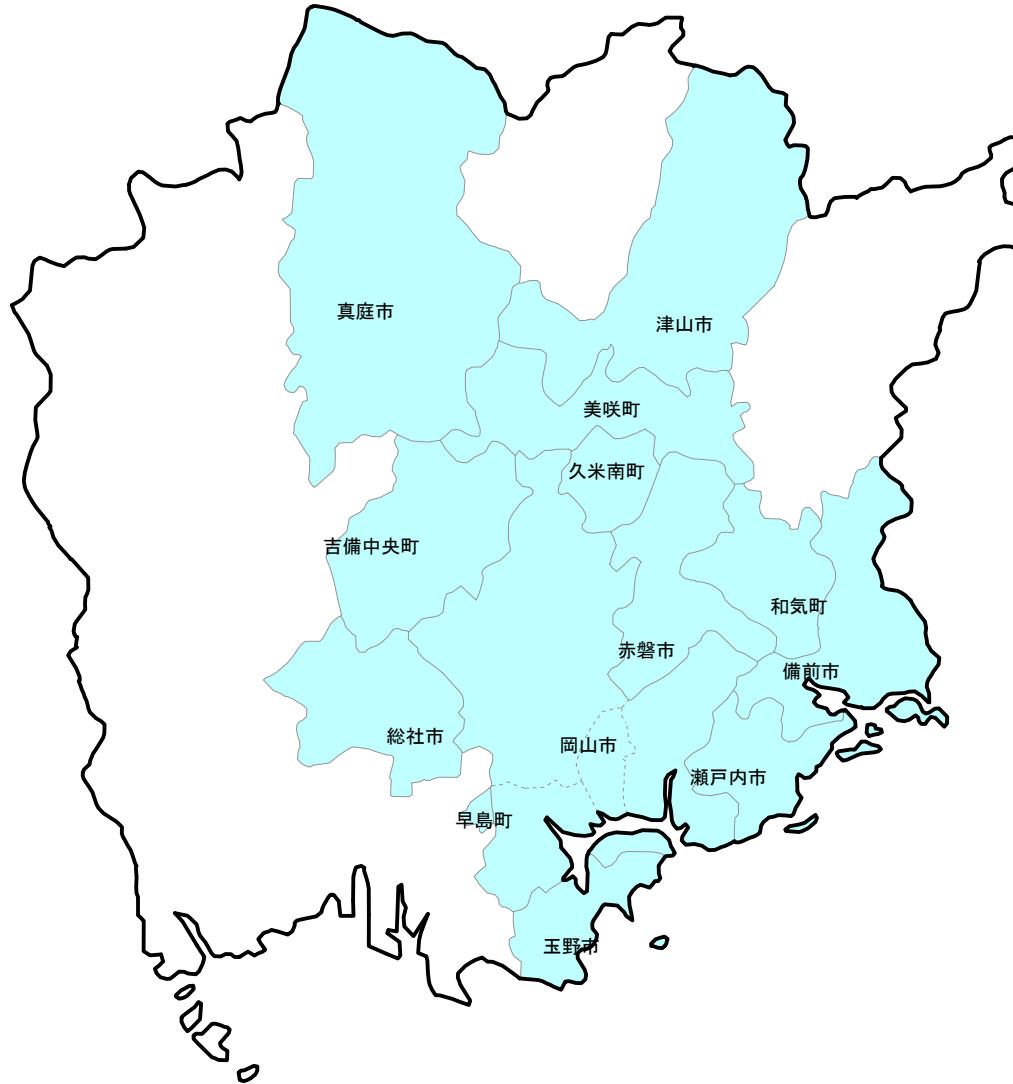


# 都市圏の概況（データ）

別紙 1

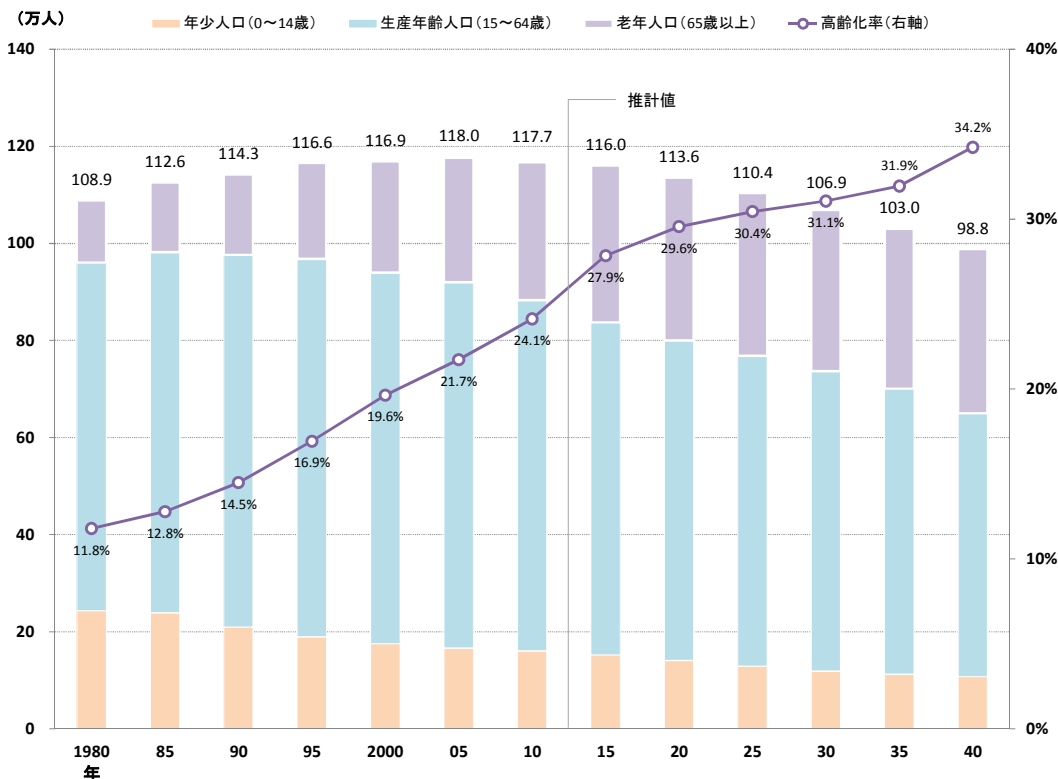


# (1) 人口 ①人口及び高齢化率

- 圏域の人口は1980年の108.9万人から2005年の118.0万人まで増加を続け、2010年からは減少に転じている。今後も人口減少が続くことが予想され、2040年には98.8万人となる見通し。
- 人口構造は、生産年齢人口が1995年をピークに減少、年少人口は長期的に減少傾向にある。一方で、老年人口の増加は続いており、高齢化率は今後も上昇することが見込まれる。

## □ 圏域の人口と高齢化率の推移(将来推計含む)

(年少・生産年齢・老年人口別を含む)



## □ 市町別の人口推移と高齢化率(将来推計含む)

単位:総人口(人)、高齢化率(%)

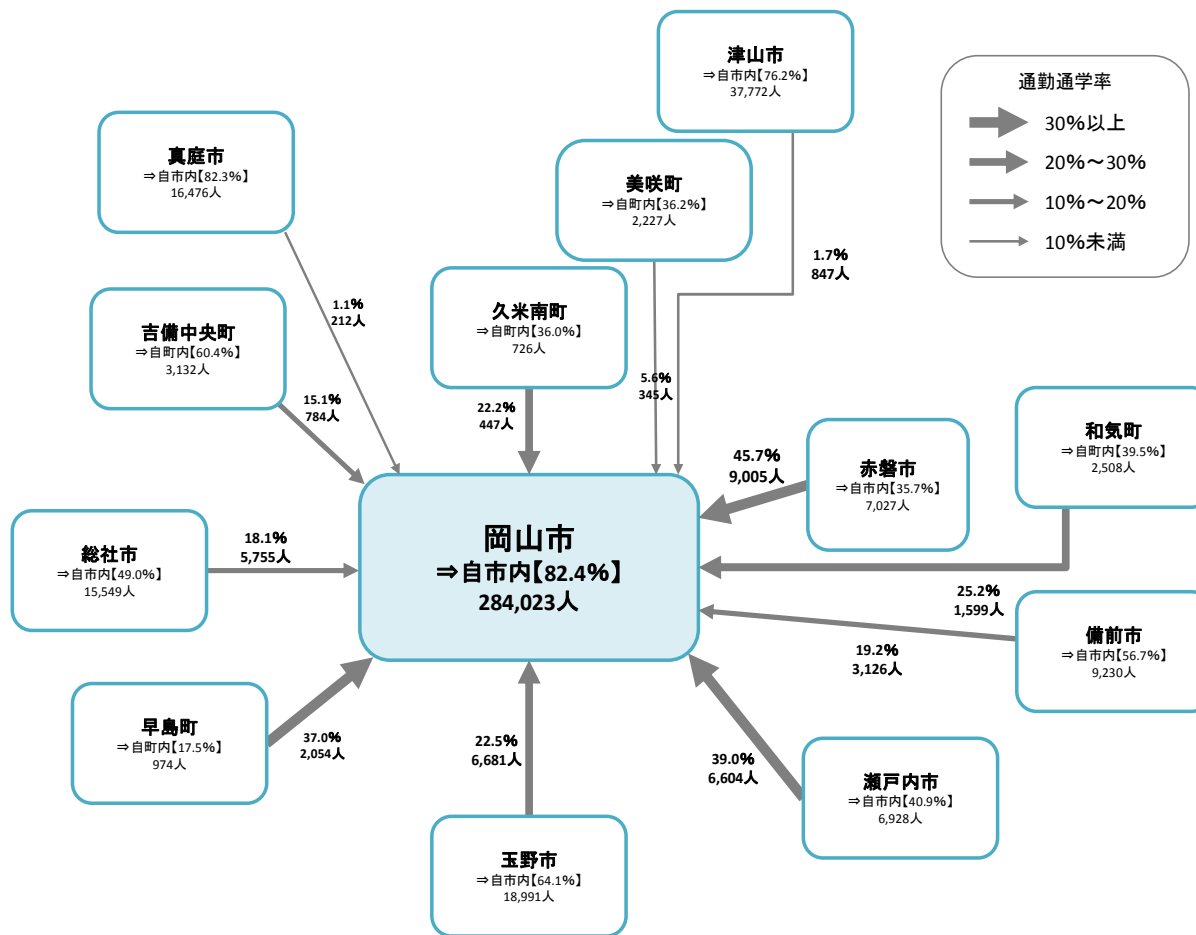
市町	2010年	2020年	2030年	2040年	10~40年増減	
岡山市	総人口	709,584	708,099	685,911	651,328	-8.2%
	(高齢化率)	(21.3)	(26.4)	(28.2)	(32.0)	10.7
津山市	総人口	106,788	98,573	89,449	79,874	-25.2%
	(高齢化率)	(25.5)	(31.3)	(33.5)	(36.6)	11.1
玉野市	総人口	64,588	58,469	51,201	43,571	-32.5%
	(高齢化率)	(29.7)	(37.6)	(38.7)	(41.1)	11.4
総社市	総人口	66,201	63,552	59,471	54,408	-17.8%
	(高齢化率)	(23.5)	(29.8)	(31.6)	(34.4)	11.0
備前市	総人口	37,839	32,911	27,765	22,851	-39.6%
	(高齢化率)	(31.5)	(38.6)	(40.5)	(43.2)	11.7
瀬戸内市	総人口	37,852	34,615	30,930	27,053	-28.5%
	(高齢化率)	(28.6)	(34.8)	(37.1)	(40.9)	12.3
赤磐市	総人口	43,458	41,158	37,824	34,010	-21.8%
	(高齢化率)	(26.4)	(34.0)	(35.2)	(36.7)	10.3
真庭市	総人口	48,964	43,166	37,570	32,487	-33.6%
	(高齢化率)	(33.6)	(39.6)	(41.2)	(41.2)	7.6
和気町	総人口	15,362	13,545	11,659	9,821	-36.1%
	(高齢化率)	(33.1)	(40.1)	(41.0)	(43.8)	10.7
早島町	総人口	12,214	12,395	12,129	11,702	-4.2%
	(高齢化率)	(22.9)	(28.1)	(27.4)	(30.2)	7.2
久米南町	総人口	5,296	4,527	3,813	3,197	-39.7%
	(高齢化率)	(38.2)	(44.3)	(45.5)	(44.6)	6.4
美咲町	総人口	15,642	13,566	11,606	9,879	-36.9%
	(高齢化率)	(35.3)	(40.2)	(40.4)	(41.4)	6.1
吉備中央町	総人口	13,033	11,134	9,490	8,073	-38.1%
	(高齢化率)	(36.7)	(41.8)	(43.8)	(44.6)	7.9

# (1) 人口 ②人口の移動

## ■ 岡山市に対する通勤通学の割合が10%以上である市町

玉野市(22.5%)、総社市(18.1%)、備前市(19.2%)、瀬戸内市(39.0%)、赤磐市(45.7%)、和気町(25.2%)、早島町(37.0%)、久米南町(22.2%)、吉備中央町(15.1%)

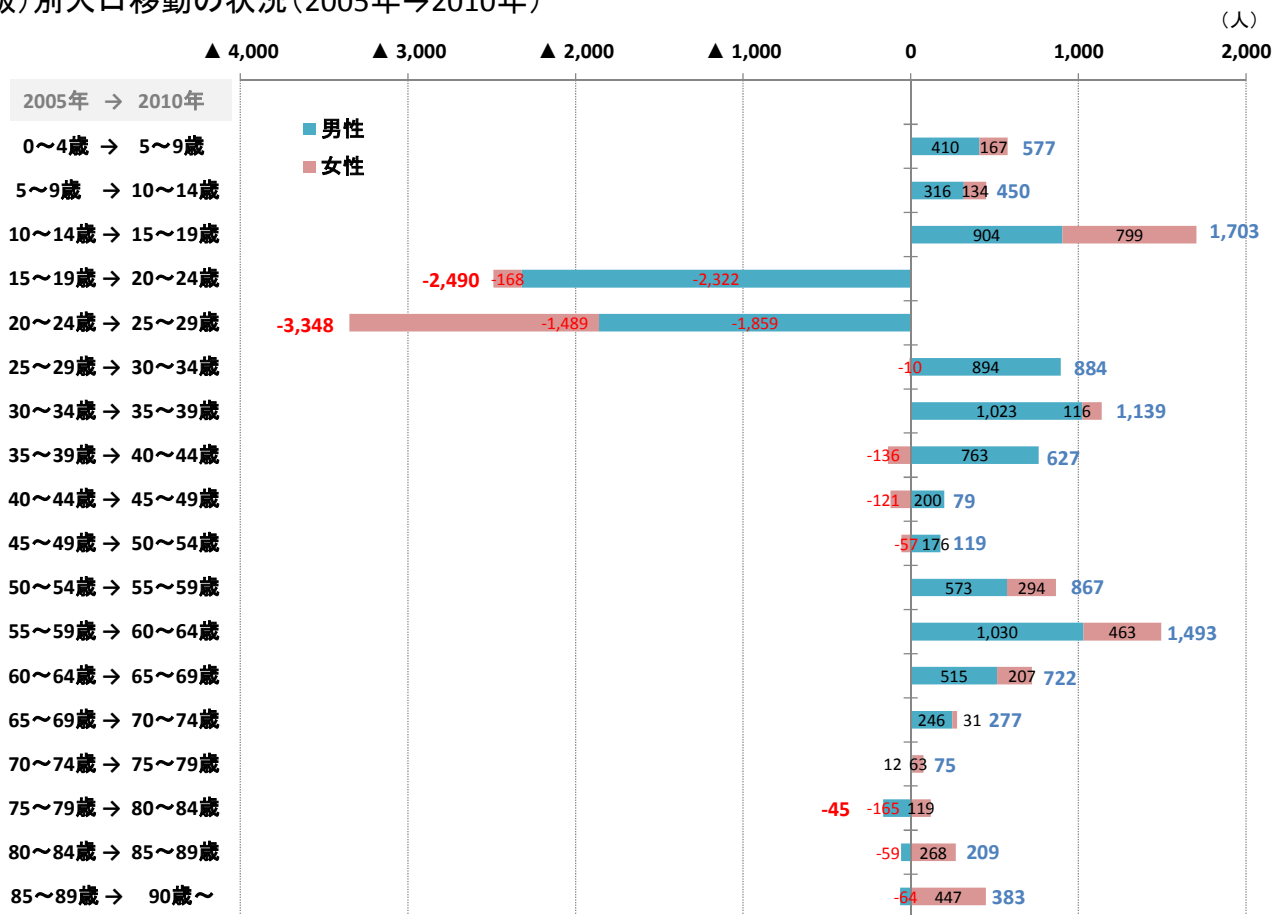
## □ 圏域の他市町からの岡山市への通勤通学割合(2010年)



# (1) 人口 ②人口の移動

- 年齢別の人口動態を見ると、10代後半から20代前半の人口の流出が顕著であり、就職等をきっかけに圏域外に転出する傾向がみられる。一方で、それ以外の年齢層では流入傾向がみられる。

## □ 圏域の年齢(5歳階級)別人口移動の状況(2005年→2010年)



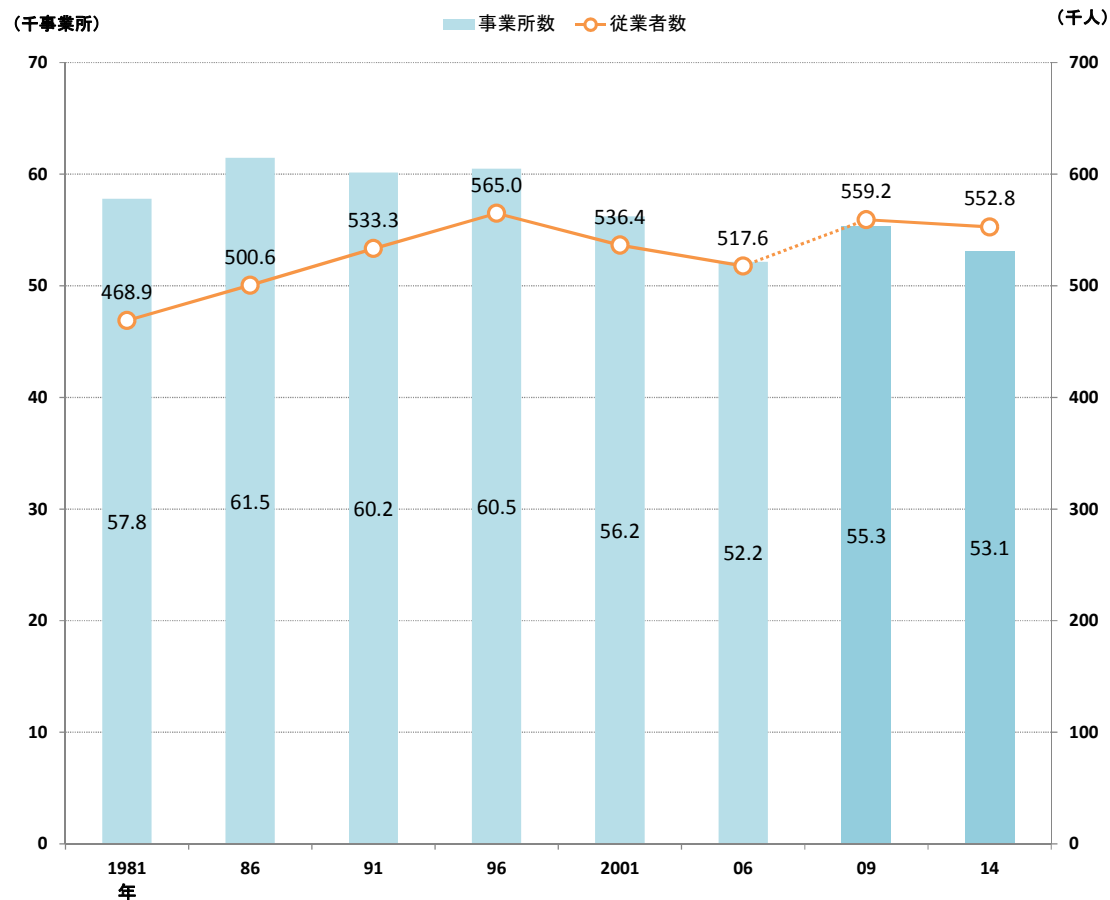
(注)2005年にある年齢階級であった人口(例:0～4歳人口)が、5年後の2010年の年齢階級の人口(例:5～9歳人口)になったときに、どの程度の増減があったかを示したものの。

出所:総務省「国勢調査」

## (2) 産業構造 ①事業所数及び従業者数

■ 圏域の事業所数及び従業者数は1990年代を境に減少傾向にある。

### □ 圏域の事業所数・従業者数の推移



(注)「事業所・企業統計」(1981～2006年)と「経済センサス基礎調査」(2009～2014年)は調査方法が異なるため、数値は直接接続しない。

出所:総務省・経済産業省 「事業所・企業統計」「経済センサス基礎調査」

## (2) 産業構造 ①事業所数及び従業者数

- 圏域の事業所数は52,683事業所、従業者数は536,943人であり、事業所・従業者ともに60%以上を岡山市が占めている。
- 産業別には、第1次産業では、岡山市・津山市・真庭市、第2次産業では岡山市・津山市・玉野市・総社市・備前市・真庭市に一定の集積がみられる。第3次産業は岡山市に集中している。

### □ 市町別の産業別事業所数・従業者数及び割合(2014年)

(単位:事業所,%)

	第1次産業		第2次産業		第3次産業		合計	
	事業所数	(構成比)	事業所数	(構成比)	事業所数	(構成比)	事業所数	(構成比)
岡山市	115	(36.3)	4,832	(53.2)	27,913	(64.5)	32,860	(62.4)
津山市	42	(13.2)	906	(10.0)	4,361	(10.1)	5,309	(10.1)
玉野市	11	(3.5)	516	(5.7)	2,022	(4.7)	2,549	(4.8)
総社市	10	(3.2)	436	(4.8)	1,700	(3.9)	2,146	(4.1)
備前市	15	(4.7)	469	(5.2)	1,445	(3.3)	1,929	(3.7)
瀬戸内市	15	(4.7)	336	(3.7)	997	(2.3)	1,348	(2.6)
赤磐市	13	(4.1)	341	(3.8)	1,047	(2.4)	1,401	(2.7)
真庭市	51	(16.1)	630	(6.9)	2,010	(4.6)	2,691	(5.1)
和気町	7	(2.2)	175	(1.9)	430	(1.0)	612	(1.2)
早島町	1	(0.3)	92	(1.0)	393	(0.9)	486	(0.9)
久米南町	7	(2.2)	48	(0.5)	159	(0.4)	214	(0.4)
美咲町	7	(2.2)	169	(1.9)	388	(0.9)	564	(1.1)
吉備中央町	23	(7.3)	134	(1.5)	417	(1.0)	574	(1.1)
圏域全体	317	(100.0)	9,084	(100.0)	43,282	(100.0)	52,683	(100.0)

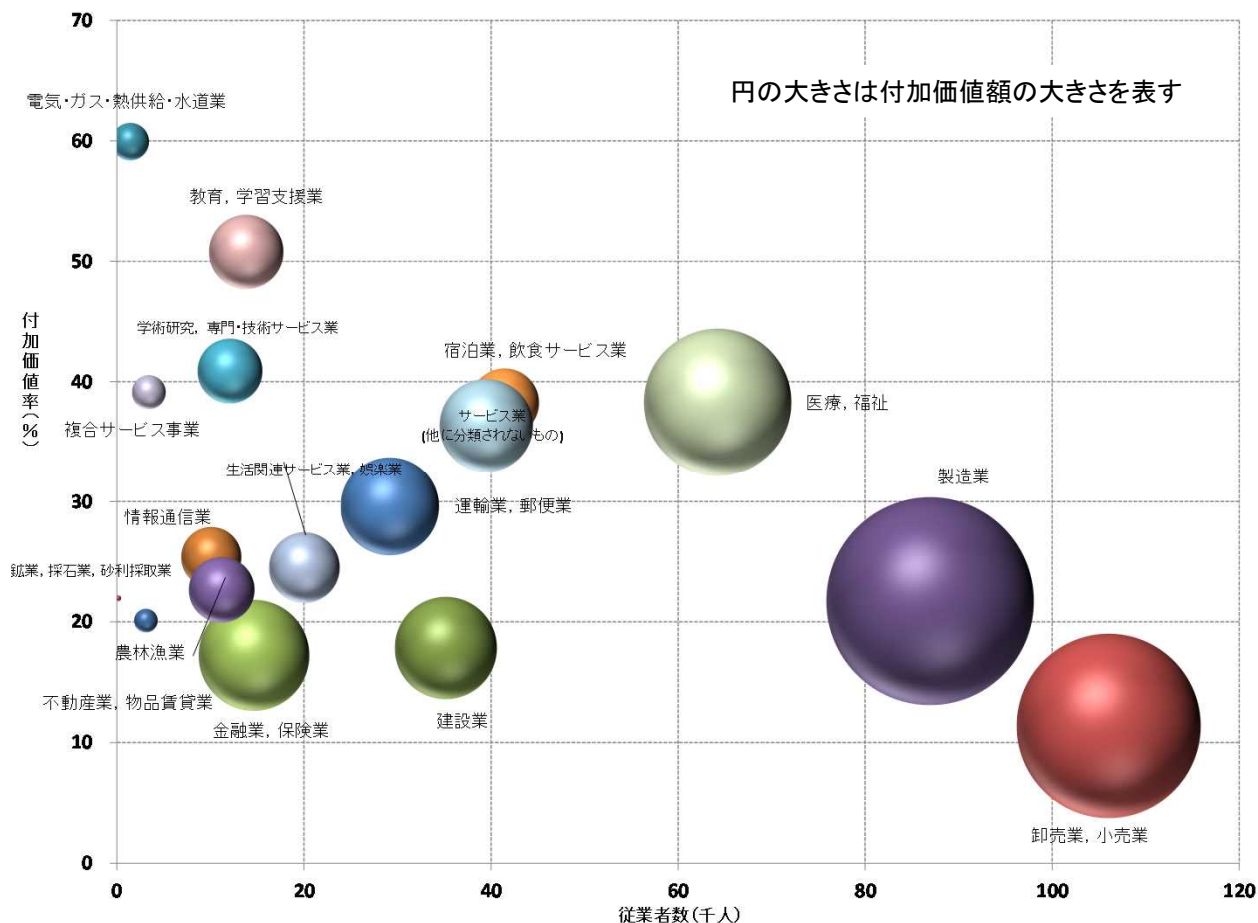
(単位:人,%)

	第1次産業		第2次産業		第3次産業		合計	
	従業者数	(構成比)	従業者数	(構成比)	従業者数	(構成比)	従業者数	(構成比)
岡山市	1,289	(37.6)	61,021	(50.7)	288,339	(69.8)	350,649	(65.3)
津山市	435	(12.7)	10,306	(8.6)	37,585	(9.1)	48,326	(9.0)
玉野市	99	(2.9)	9,308	(7.7)	15,504	(3.8)	24,911	(4.6)
総社市	84	(2.4)	9,558	(7.9)	14,207	(3.4)	23,849	(4.4)
備前市	73	(2.1)	7,129	(5.9)	10,623	(2.6)	17,825	(3.3)
瀬戸内市	438	(12.8)	5,488	(4.6)	9,501	(2.3)	15,427	(2.9)
赤磐市	145	(4.2)	4,728	(3.9)	8,455	(2.0)	13,328	(2.5)
真庭市	394	(11.5)	6,507	(5.4)	12,909	(3.1)	19,810	(3.7)
和気町	135	(3.9)	1,505	(1.2)	3,347	(0.8)	4,987	(0.9)
早島町	8	(0.2)	719	(0.6)	5,595	(1.4)	6,322	(1.2)
久米南町	47	(1.4)	518	(0.4)	1,078	(0.3)	1,643	(0.3)
美咲町	166	(4.8)	1,750	(1.5)	2,926	(0.7)	4,842	(0.9)
吉備中央町	117	(3.4)	1,914	(1.6)	2,993	(0.7)	5,024	(0.9)
圏域全体	3,430	(100.0)	120,451	(100.0)	413,062	(100.0)	536,943	(100.0)

## (2) 産業構造 ②総生産

- 圏域の従業者数・付加価値額をみると、「卸売・小売業」「医療・福祉」「製造業」が大きな産業となっている。
- 産業の特性として「卸売・小売業」「医療・福祉」は典型的な域内市場産業であるため、域内の人口動向に左右されるが、域外から外貨を獲得する産業としては、主に域外を市場とする(もしくは域外からの資金で仕事が発生する)「製造業」「観光業(宿泊業・飲食サービス業)」があり、経済成長にとって重要な産業といえる。

### □ 圏域の産業別就業者数・付加価値額・付加価値率(民営事業所、2012年)

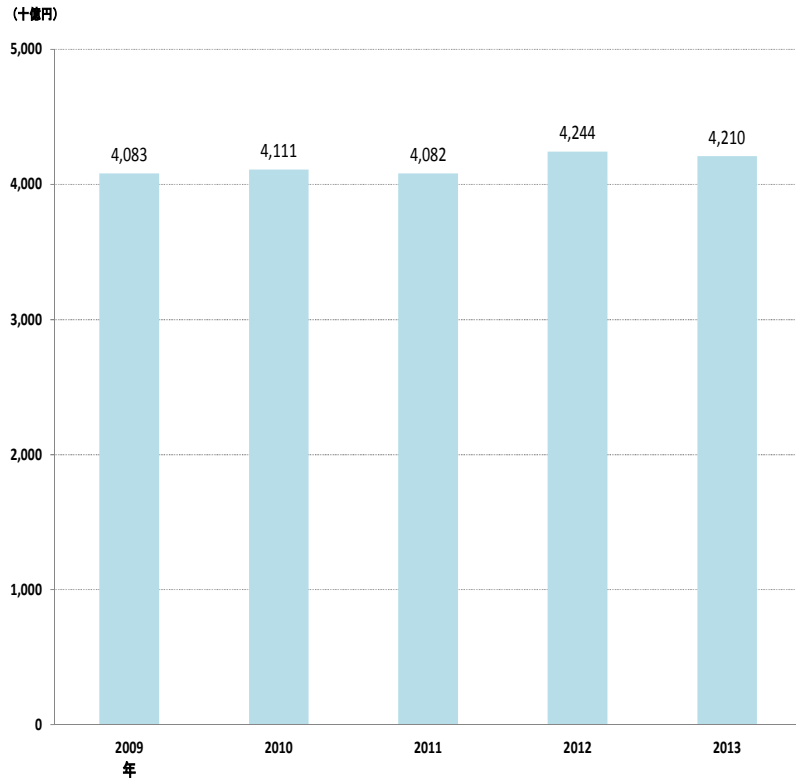


- (注1) 事業所を調査対象としているため、個人事業主の多い農林漁業の値が小さくなる傾向がある。
- (注2) 付加価値額とは、企業の生産活動によって新たに生み出された価値のことであり、「売上高」から「費用総額」を引いた額に、「給与総額」と「租税公課」を加えたもの。地域内にどの程度の付加価値額が発生したかを把握することは、地域の経済力を図る重要な指標となる。
- (注3) 「付加価値率」は、「付加価値額」を「売上金額」で除したもの。売上のうち付加価値(企業の利益・従事者への給与・行政への納税)が発生した割合を表す。
- (注4) 「従業者数」が多いほど雇用への貢献が高い、「付加価値額」が大きい(バブルが大きい)、もしくは「付加価値率」が高いほど稼ぐ力が高いといえる。

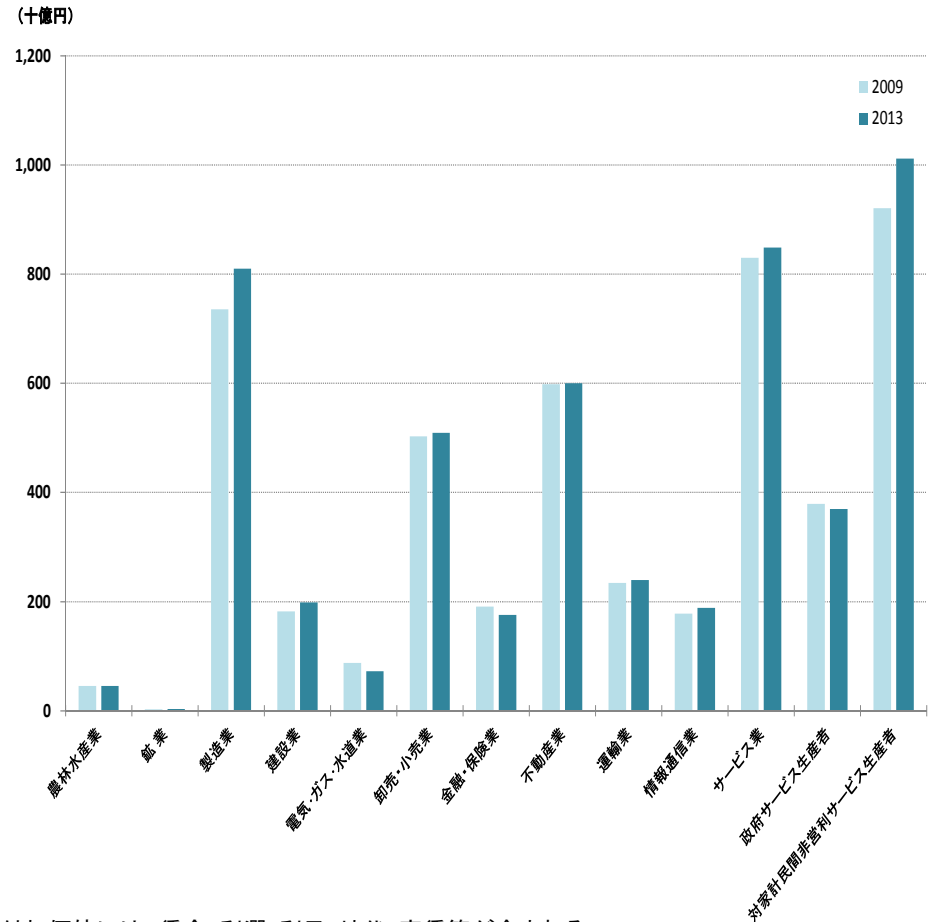
## (2) 産業構造 ②総生産

- 圏域の総生産は年間約4兆円であり、2009～2012年にかけては若干ではあるが増加傾向で推移している。
- 業種別には、製造業・サービス業で生産額が伸びている。

### □ 圏域の総生産の推移



### □ 圏域の業種別生産額の推移(2009・2013年)



(注)総生産は、一定期間中に圏域内で生み出された付加価値の合計である。ここでの付加価値には、賃金・利潤・利子・地代・家賃等が含まれる。

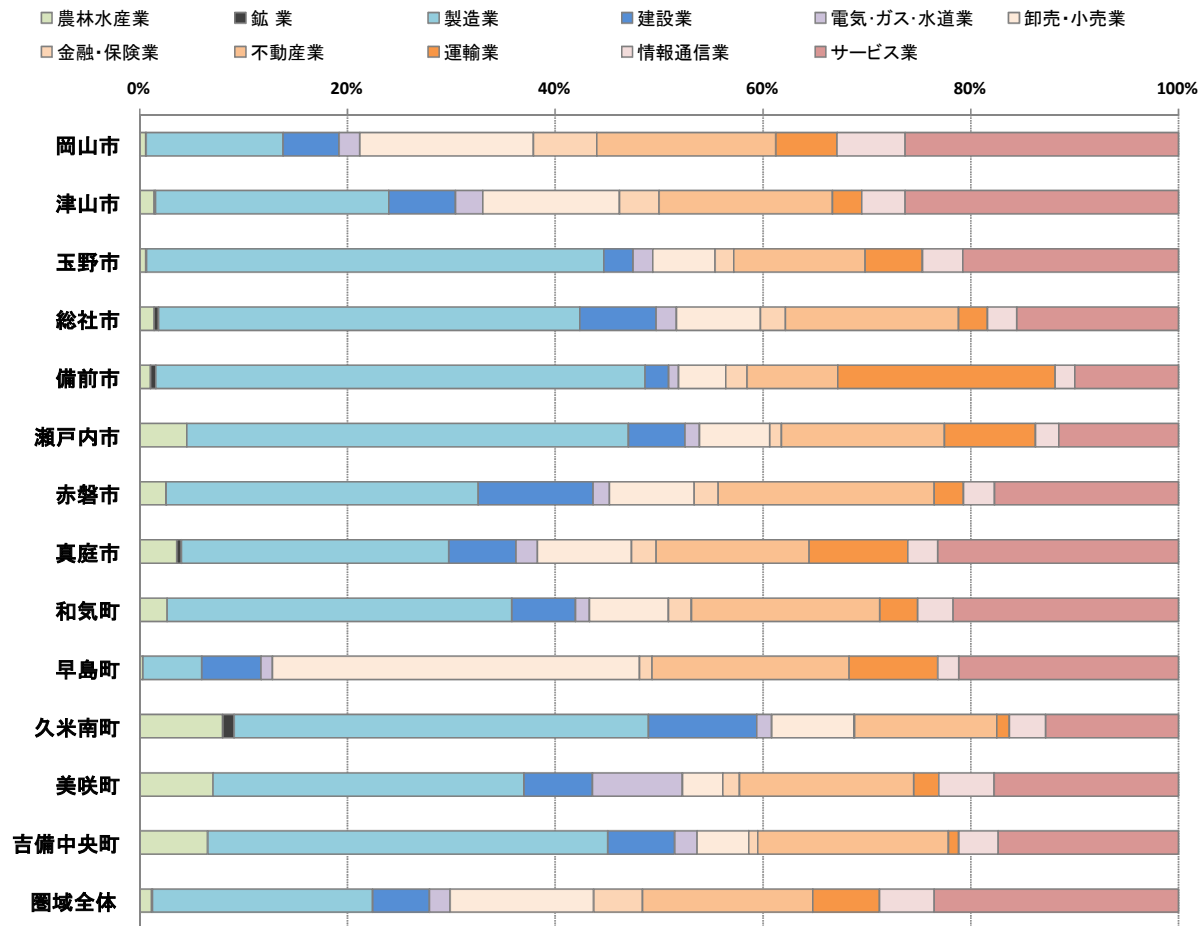
出所：岡山県「市町村民経済計算」



## (2) 産業構造 ②総生産

- 圏域の核となっている岡山市・津山市では卸売・小売業、サービス業のウェイトが高い。
- その他多くの地域では、製造業のウェイトが高く、製造業が重要な産業となっている。

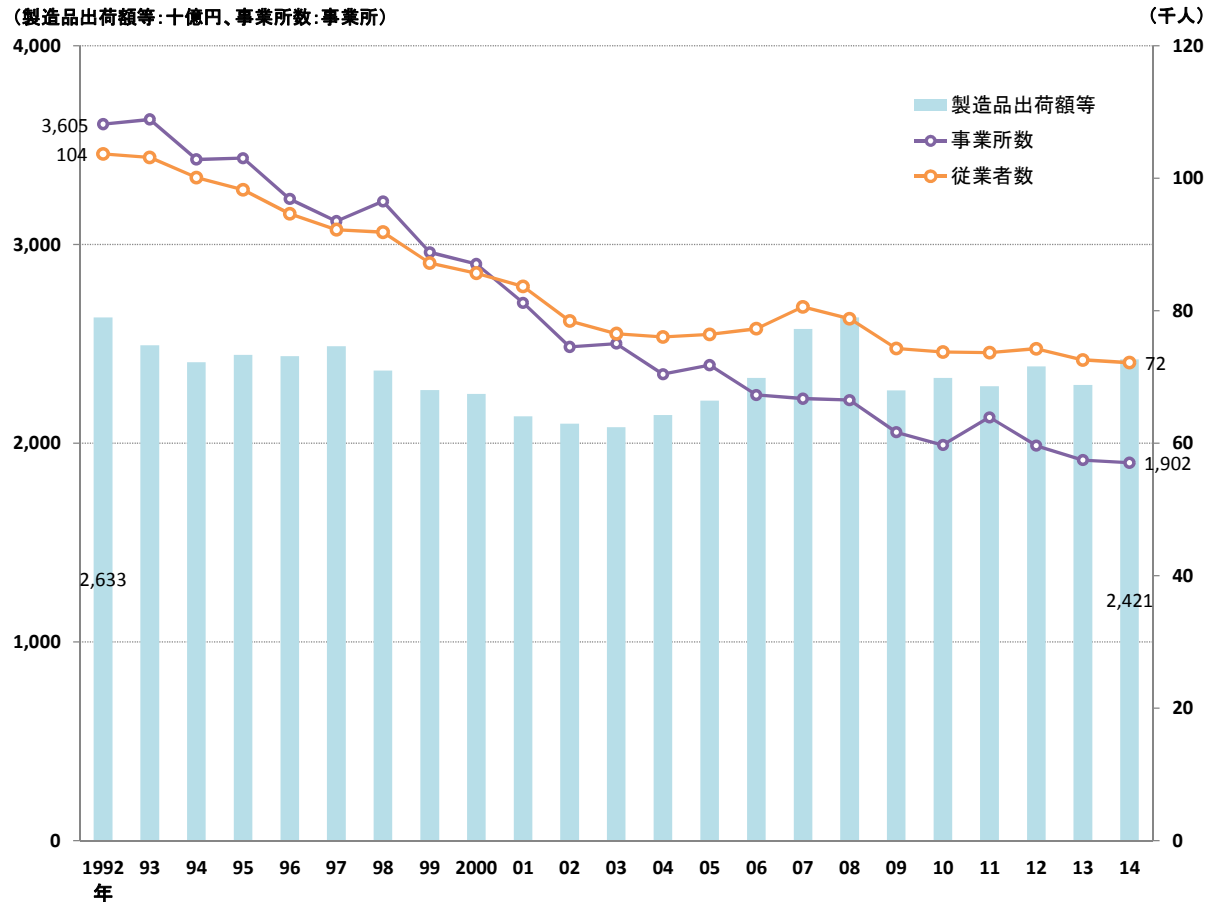
□ 市町別の産業別生産額の構成比(2013年)



## (2) 産業構造 ③工業

- 圏域の製造業出荷額は、1992年から2014年までを通して2.0兆～2.6兆円を維持している。ただし、従業者数・事業所数はともに1992年から2014年にかけて約30%の減少となっている。

### □ 圏域の製造業の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移



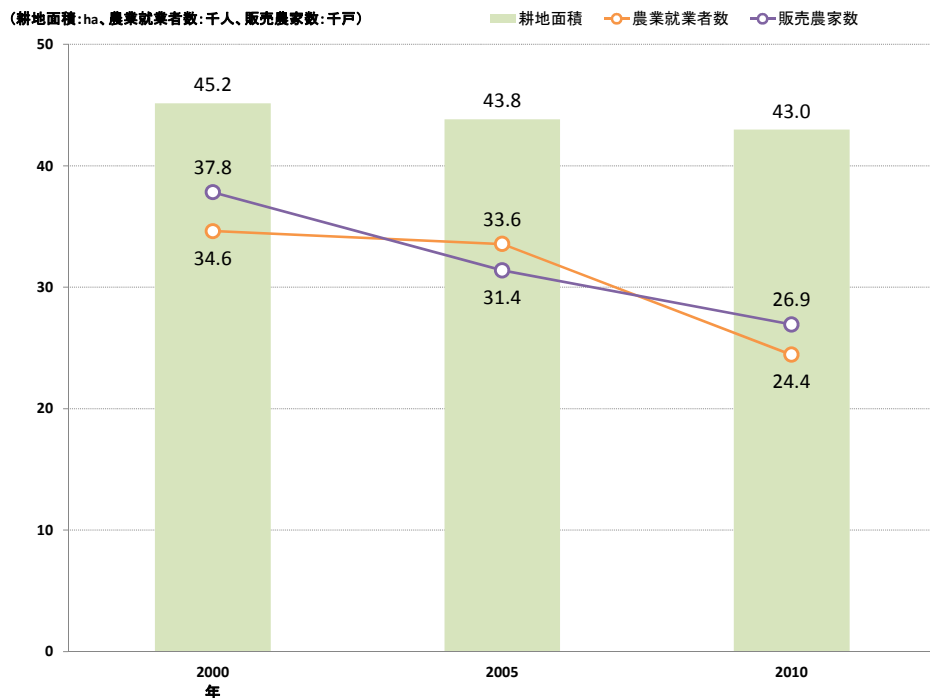
(注) 製造品出荷額等とは、1年間(1～12月)における製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程からでたくず及び廃物の出荷額の合計であり、消費税等内国消費税額を含んだ額である。

出所: 経済産業省「工業統計調査」

## (2) 産業構造 ④農業

- 農業就業者数・販売農家は高齢化や後継者不足などを原因として減少傾向にある。それに伴い耕地面積も減少傾向にある。
- 圏域全体の農業産出額は約680億円であり、総農家数は約2.7万戸である。農家1戸当たりの農業産出額は、岡山市・玉野市・瀬戸内市・久米南町・美咲町が圏域平均よりも高くなっている。

### □ 圏域の耕地面積・農業就業者数・販売農家数の推移



(注)「販売農家」とは、経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家を指す。

### □ 市町別の農業産出額(2006年)・販売農家数(2010年)

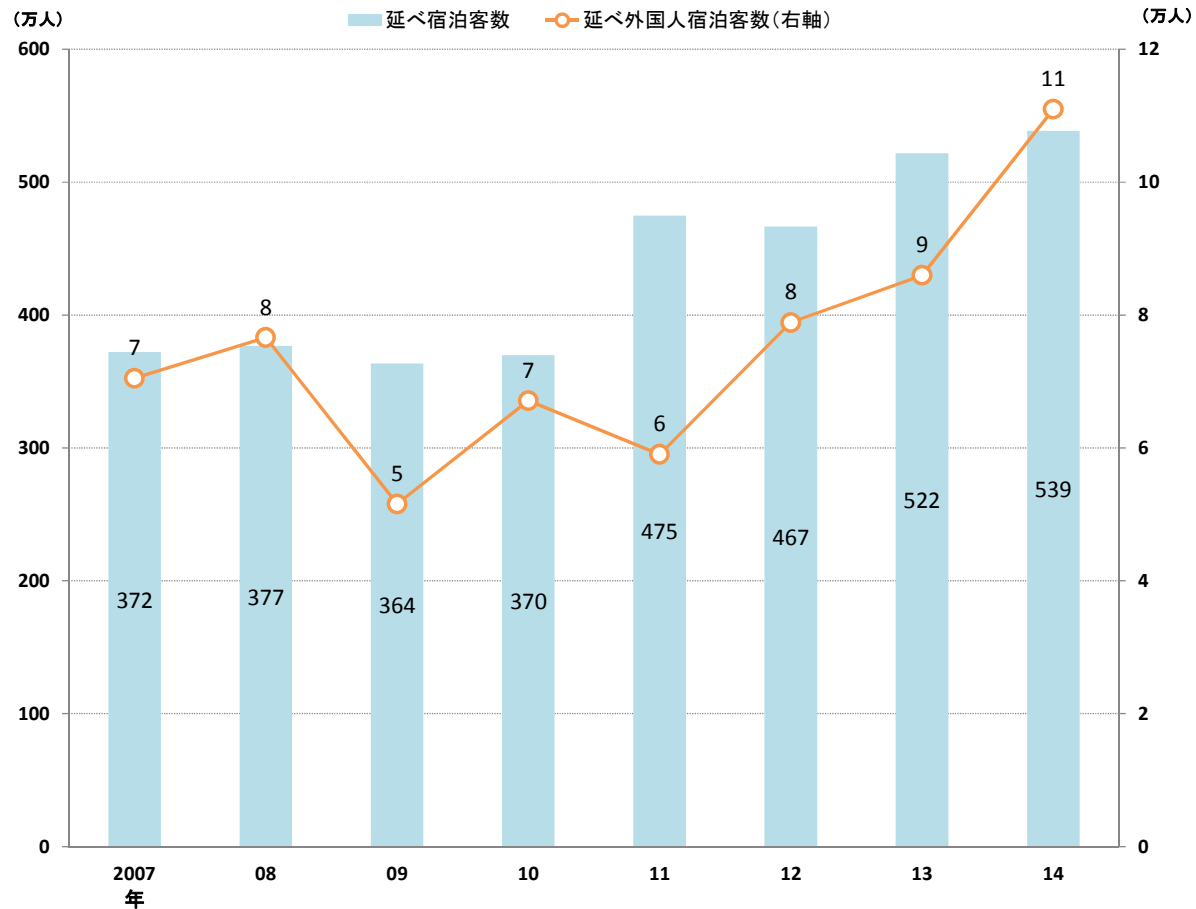
地域	農業産出額		農家数(販売農家)(戸)		農家1戸あたり 農業産出額 (百万円/戸)
	(百万円)	(構成比)	(戸)	(構成比)	
岡山市	22,810	(33.5)	8,730	(32.4)	2.6
津山市	7,480	(11.0)	4,103	(15.2)	1.8
玉野市	1,390	(2.0)	479	(1.8)	2.9
総社市	3,580	(5.3)	1,922	(7.1)	1.9
備前市	760	(1.1)	480	(1.8)	1.6
瀬戸内市	5,540	(8.1)	1,293	(4.8)	4.3
赤磐市	4,030	(5.9)	1,770	(6.6)	2.3
真庭市	8,210	(12.1)	3,761	(14.0)	2.2
和気町	1,620	(2.4)	740	(2.7)	2.2
早島町	210	(0.3)	132	(0.5)	1.6
久米南町	1,890	(2.8)	633	(2.4)	3.0
美咲町	6,620	(9.7)	1,298	(4.8)	5.1
吉備中央町	3,860	(5.7)	1,588	(5.9)	2.4
圏域全体	68,000	(100.0)	26,929	(100.0)	2.5

出所: 農林水産省「農林業センサス」「作物調査」「生産農業所得統計」、総務省「国勢調査」

## (2) 産業構造 ⑤観光

■ 岡山県全体では宿泊客数は増加傾向にあり、2013年には年間延べ宿泊客数が500万人を超え、2014年には539万人に達している。また、外国人宿泊客数も増加しており、2014年は初めて10万人を突破している。

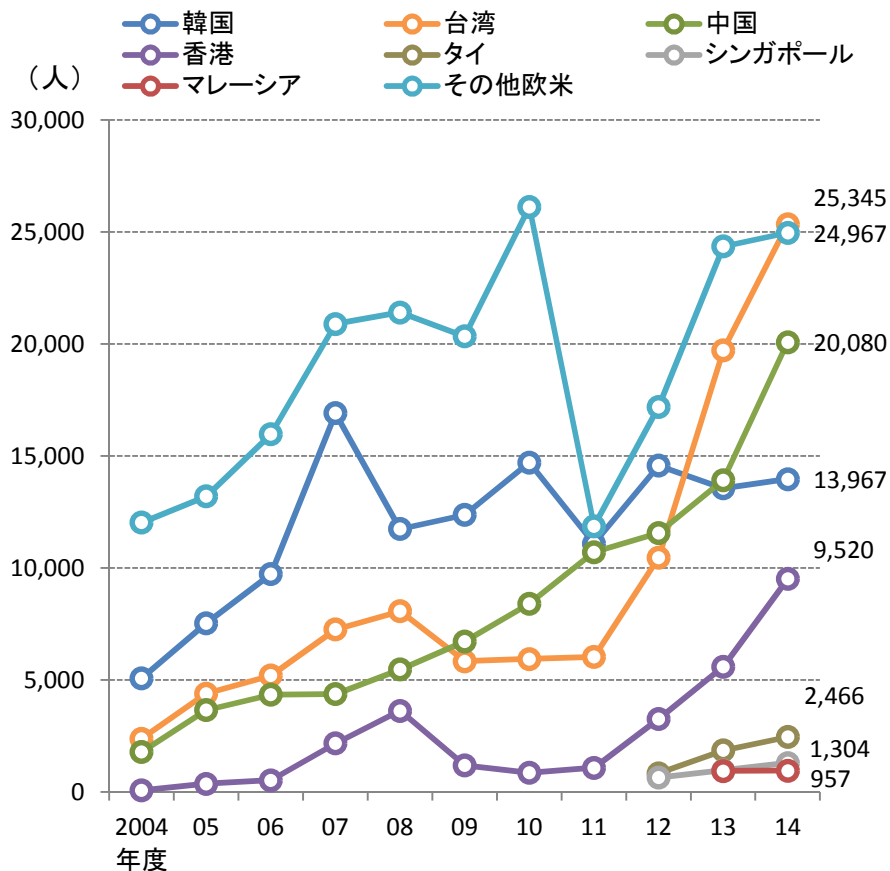
### □ 県の宿泊者数の推移(外国人含む)



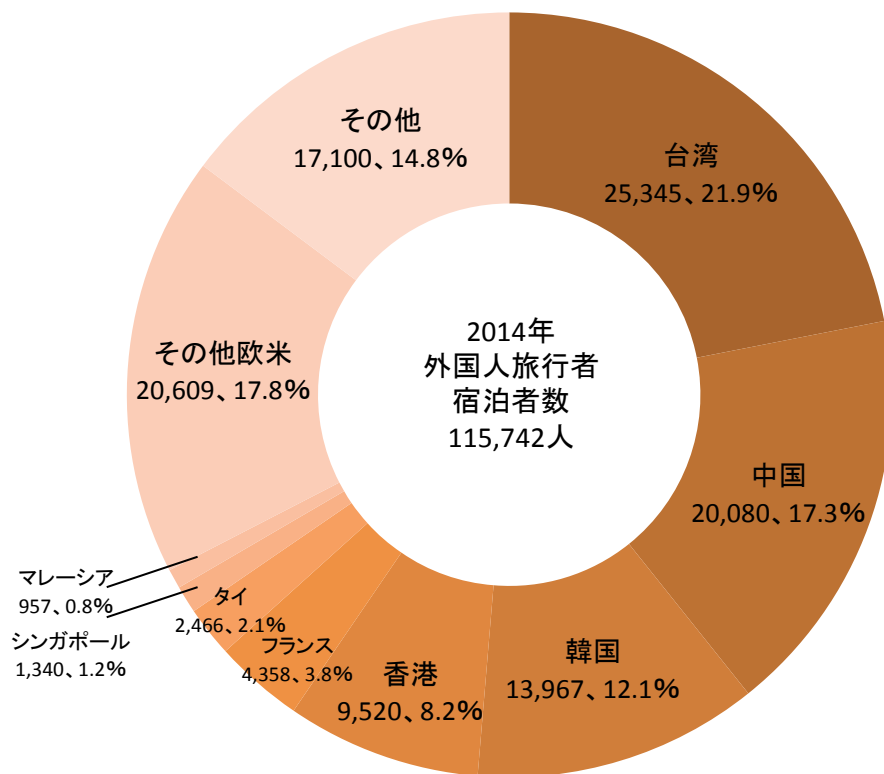
## (2) 産業構造 ⑤観光

- 外国人宿泊者数の長期推移をみると、2004年時点では欧米からの観光客が多かったが、2011年には東日本大震災の影響もあり、その数が大幅に減少した。しかし、震災以降、台湾を筆頭にアジアからの観光客が増加し、2014年には外国人旅行者宿泊者の半数以上をアジアからの旅行者が占めている。
- 2014年の外国人旅行者宿泊者数は、アジアからの観光客が多く、その中でも台湾は全体の20%を占める割合となっている。次いで中国、韓国、香港となっている。

□ 県の外国人旅行者宿泊者数の推移



□ 県の外国人旅行者宿泊者数(2014年)

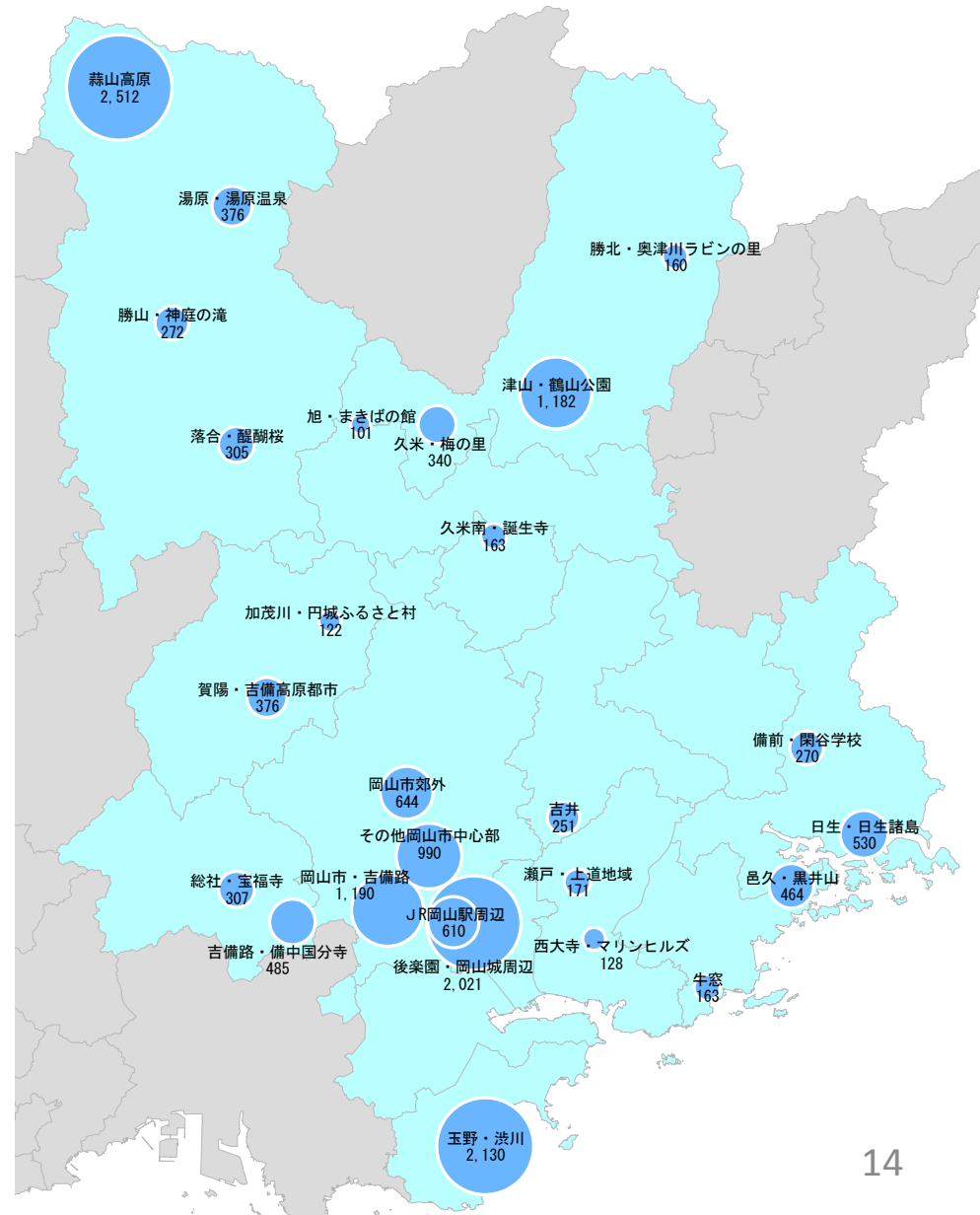


単位:人

## (2) 産業構造 ⑤観光

- 観光地別に観光客数をみると、岡山市の中心部と真庭市の蒜山高原、玉野・渋川、津山・鶴山公園の入込客数が多い。

□ 圏域の主な観光地の観光客数(2014年) 単位:千人



### (3) 高次都市機能の集積状況 ①医療

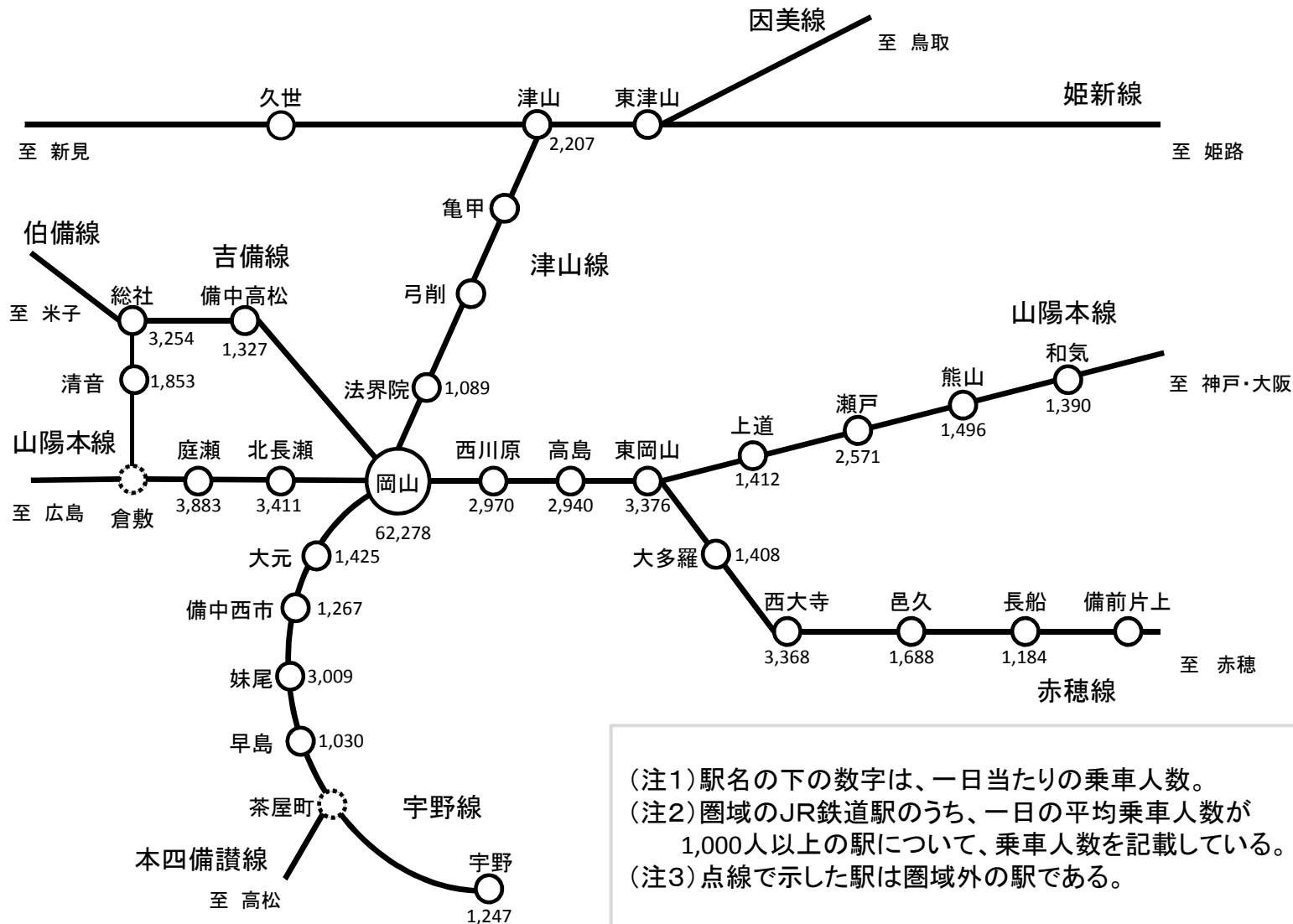
- 圏域に立地する病院数(一般病院)は91病院であり、半数以上の48病院が岡山市内に立地している。また、津山・玉野市にも一定の集積が見られる。また、診療所は一般診療所が1,083カ所あり、うち690カ所が岡山市内に立地している。人口規模の小さい町では病院・診療所数ともに少なく、久米南町には病院が立地していない。

#### □ 市町別の医療施設数・医師数(2014年)

二次保健 医療圏	市町名	医療施設			医師	
		一般病院数 (施設)	一般診療所数 (施設)	人口千人当たり 医療施設数	医師数 (人)	人口千人当たり 医師数
県南東部	岡山市	48	690	1.0	2,861	4.1
	玉野市	9	53	1.0	111	1.7
	備前市	5	30	0.9	49	1.3
	瀬戸内市	4	31	0.9	62	1.6
	赤磐市	1	38	0.9	53	1.2
	和気町	2	12	0.9	33	2.2
	吉備中央町	2	14	1.3	21	1.7
県南西部	総社市	3	47	0.7	72	1.1
	早島町	1	8	0.7	39	3.2
真庭	真庭市	6	43	1.0	75	1.5
津山・英田	津山市	9	99	1.0	297	2.8
	久米南町	0	6	1.1	4	0.8
	美咲町	1	12	0.8	10	0.6
圏域全体		91	1,083	1.0	3,687	3.1

### (3) 高次都市機能の集積状況 ②交通 鉄道

□ 圏域のJRの鉄道ネットワークと主要駅の平均乗車人数(2014年)

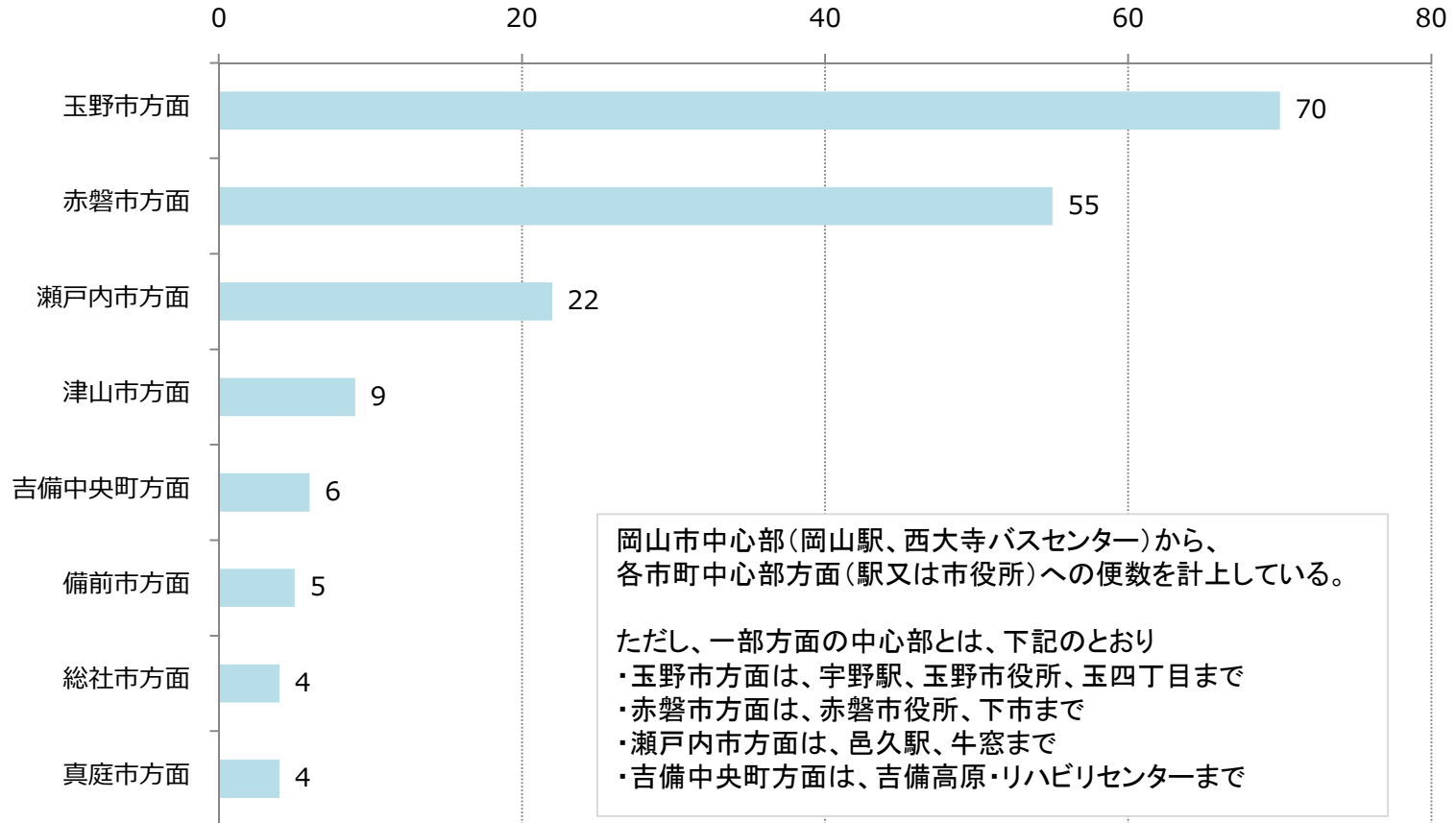




### (3) 高次都市機能の集積状況 ②交通 路線バス

#### □ 岡山市と圏域の他市町との間の主な路線バスの便数(2016年5月現在)

(便/日)



(注)岡山市から各地への平日往路の便数

出所:各社ウェブサイト等により作成

### (3) 高次都市機能の集積状況 ②交通 空港

■ 圏域には岡山空港があり、国内線3路線、国際線2路線が運行されており、国内外との広域交通を担っている。

#### □ 岡山空港の利用状況

国内路線				国際路線			
	便数 (1日当たり)	搭乗者数 (年間)	搭乗率 (年間)		便数 (週当たり)	搭乗者数 (年間)	搭乗率 (年間)
東京(羽田)	12	1,040,466	56.4	韓国(ソウル)	7	86,815	64.9
札幌(新千歳)	1	70,132	68.3	中国(上海)	7	44,710	52.3
沖縄(那覇)	1	86,469	82.6				
合計	14	1,197,067	-		14	131,525	-

(注) 便数は平成27年10月1日現在のもの。搭乗者数及び搭乗率は現在定期路線が就航している路線の平成26年度実績。

出所: 資料: 国土交通省中国運輸局「中国地方の空港概要」

### (3) 高次都市機能の集積状況 ③高等教育

■ 圏域内には11大学、10大学院、4短期大学及び1高等専門学校があり、約3.6万人の学生が学んでいる。

□ 圏域の高等教育機関別の学生数(2015年)

		学校名	主な所在地	学生数(人)		
				大学 高専	大学院	
大学	国立	岡山大学	岡山市	10,240	2,949	
	公立	岡山県立大学	総社市	1,638	211	
	私立		岡山商科大学	岡山市	1,395	31
			岡山理科大学	岡山市	5,984	214
			環太平洋大学	岡山市	1,787	-
			山陽学園大学	岡山市	646	9
			就実大学	岡山市	2,560	22
			中国学園大学	岡山市	602	9
			ノートルダム清心女子大学	岡山市	2,290	15
		美作大学	津山市	967	6	
	吉備国際大学	岡山市・高梁市	1,873	59		
短大	私立	山陽学園短期大学	岡山市	342	-	
		中国短期大学	岡山市	472	-	
		就実短期大学	岡山市	410	-	
		美作大学短期大学部	津山市	220	-	
高専	国立	津山工業高等専門学校	津山市	864	-	
圏域全体				32,290	3,525	

(注) 吉備国際大学については、圏域内の岡山市と圏域外の高梁市にキャンパスが立地しているが、主に岡山市のキャンパスに通学する学生数のみを切り分けることができないため、総数を記載している。

出所: 各学校ウェブサイト